

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-8577
 住 所 川崎市川崎区宮本町1番地
 氏 名 川崎市病院局
 川崎市病院事業管理者 金井 歳雄 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎市病院局		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎市川崎区宮本町1番地		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	13,257	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1 事業者全体基本方針

川崎市役所では、令和4年3月に改定した「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」において『「将来世代にわたって安心して暮らせる脱炭素なまちづくり」と「環境と経済の好循環による持続可能で力強い産業づくり」に挑戦』を基本理念として掲げており、脱炭素社会の実現に向けた施策を一層強化するため、2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標を「2013年度比で50%以上削減（市役所目標）」と設定した。

市立病院においては、利用者の安全・安心の確保を最優先に医療提供体制の確保を図るため、市役所の基本方針に合わせながら、次の方針を中心とした地球温暖化対策を進める。

- (1) 市立病院経営計画2022-2023のもと、環境を意識した病院経営により、地域社会への貢献に努める。
- (2) 設備等の老朽化に伴うエネルギー消費の増大を防ぐため、計画的な更新を推進する。
- (3) 設備の導入に関しては、温室効果ガス排出量が少ないものや省エネ効果が高いものを導入するように努める。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

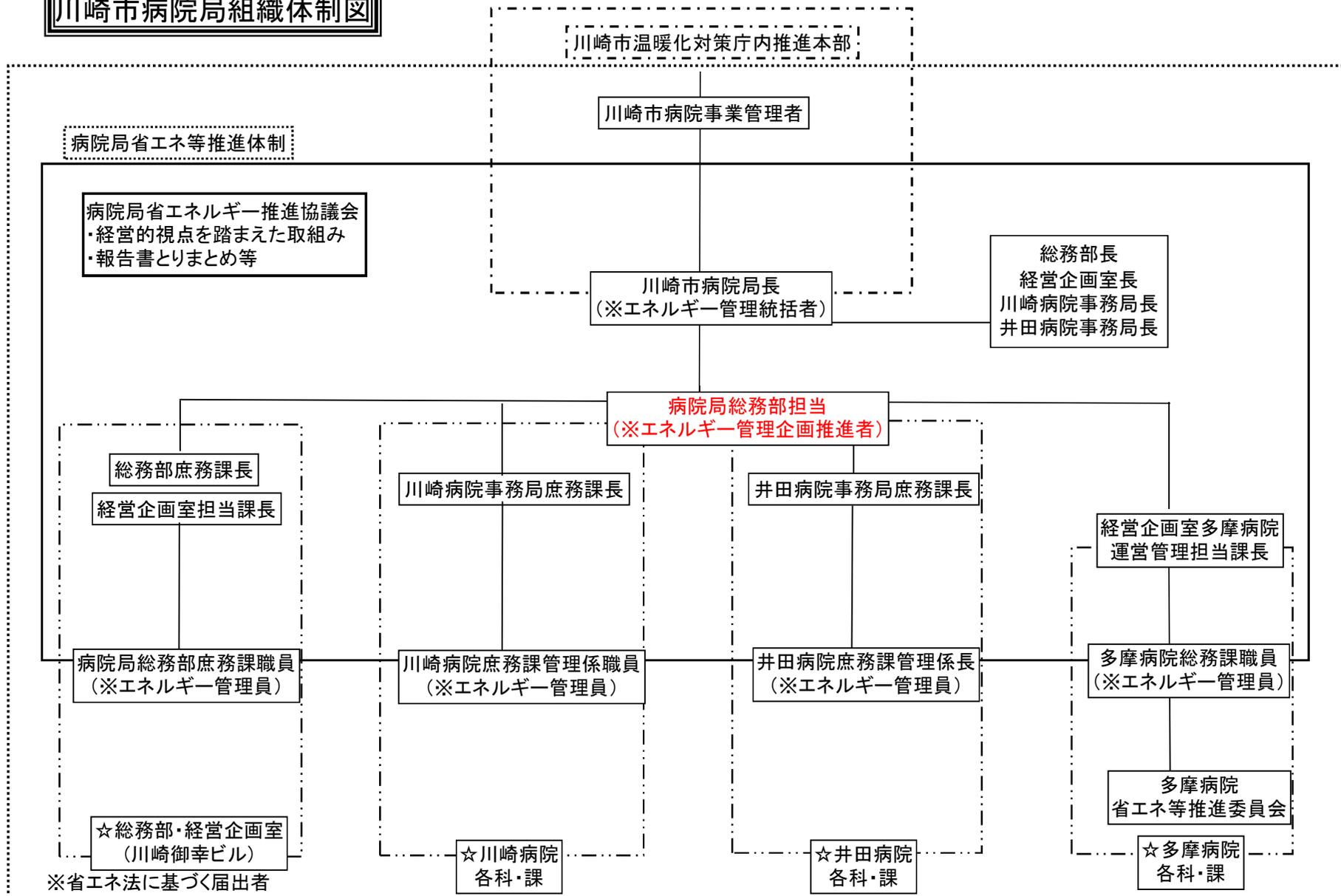
年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量および排出量の実績管理を行い、予算管理も含めて運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。

以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

別紙「組織体制図」のとおり

川崎市病院局組織体制図



※省エネ法に基づく届出者

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2021				年度
目 標 年 度		2024				年度
基 準 排 出 量	(実)	25,026		(実)		
	(調)	24,575	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	20,668		(実)		
	(調)		t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削 減 量	(実)	4,358	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	4,358 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率	(実)	17.4	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量					
原 単 位 の 単 位					
基 準 年 度 の 値					
目 標 年 度 の 値					
削 減 率		%		%	

ウ 目標設定に関する説明

川崎市役所では「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」を2022年度に改定し、「2030年度までに市公共施設全体の温室効果ガス排出量を2013年度比で50%以上削減すること」を目標に掲げている。市立川崎病院においては、再編整備に伴いエネルギー設備の更新を進めており2023年度に完成する見込みである。その効果として2023年度は、川崎病院においては基準年度に対して24.5%の削減を見込んでいる。3病院合わせた2023年度の削減率は14%を見込んでおり、2022年度、2024年度は3病院合わせて、年1.7%の削減を目標として設定し、本計画期間については、3年間で17.4%の削減を目指す。

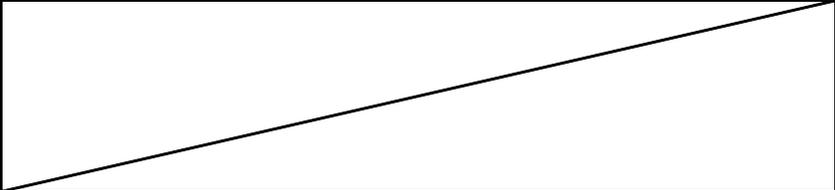
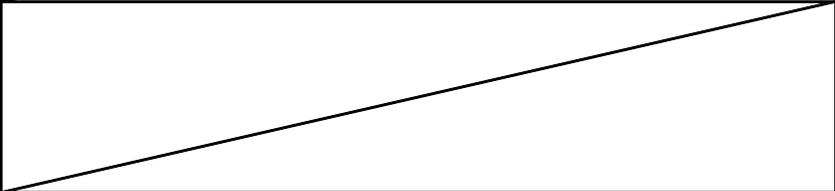
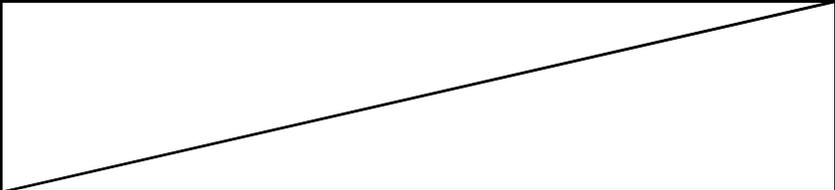
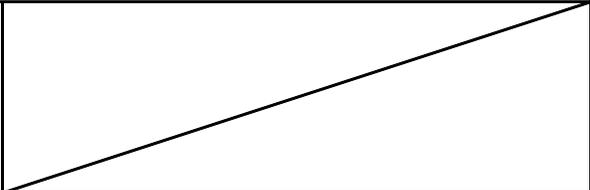
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○川崎病院では、令和5年度エネルギー棟建設によって、老朽化した熱源設備の更新を行い、高効率熱源設備を新規導入する。また、令和4年度から開始している院内照明LED化工事については、今後も未実施箇所の工事を進めていく。 ○井田病院では、院内全LED化の実施及び空調設備二次ポンプ自動制御装置の新設、更にはコロナ収束後には空調、ボイラー設備の効率運転の実施でエネルギーの効率化を図る。 ○多摩病院では、排出量の削減に向けて、インバータ非搭載空調機へのインバータ設置工事を進めていく。令和4年度計画は新規で2台分を設置予定。また、LED照明器具への更新工事を実施していく。 ○施設共通事項として、利用者に直接影響のない事務室内における昼休み時間等の消灯や、ブラインドの管理及びエアコンの適正な設定温度管理を徹底し、発熱、消費電力の削減を図る。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>○川崎病院では、コージェネレーション設備やボイラー設備について、負荷の増減に応じて運転台数を調整し、適切な運転管理を実施した。 ○井田病院では、再編整備が完了しエネルギーが安定化したことにより、温室効果ガス排出削減に向け全体的な空調運転時間のスケジュールの見直しを行った。しかしながら、令和3年2月からコロナ感染対策が重視され空調換気運転等スケジュールの変更が余儀なくされた。これによりエネルギー(空調、換気、加湿ボイラー等)使用が増加し、温室効果ガスの排出削減量が小さくなってしまった。 ○多摩病院では、令和3年12月に水冷モジュールチラーの更新工事を実施し年間を通しての冷房用熱源機器として運用している。従来のインバータ非搭載機器から搭載機への更新を実施した。インバータ非搭載の空調機へのインバータ設置を実施。令和3年までで5台をインバータ化済。インバータ非搭載の熱源機器用冷却水ポンプにインバータ設置を実施。令和3年までで1台をインバータ化済。 部署ごとにLED照明器具への更新工事を実施。(令和3年度実施エリアはリハビリ科と手術室の一部)</p>
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	井田病院及び多摩病院において設置済み。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	【多摩病院】規模20kW 年間発電量13,086kW(2021年)	平成17年度
太陽光発電設備	【井田病院】規模20kW 年間発電量22,652kW(2021年)	平成24年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	無し
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<p>1 グリーン購入を推進する。</p> <p>2 廃棄物の減量化、分別化を推進する。</p>
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	25,026	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

13,257	K L
--------	-----

ウ 事業所の数

4

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎市立川崎病院	川崎区新川通12-1	13,094 t-CO ₂
川崎市立井田病院	中原区井田2-27-1	6,160 t-CO ₂
川崎市立多摩病院	多摩区宿河原1-30-37	5,752 t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂